

学校教育目標 「豊かな心と体を鍛え、仲間とともにたくましく生きる力を育てる」

学校だより



～いいこと つづけよう～

令和7年9月30日
第5号

〒078-8238
旭川市豊岡8条6丁目
☎33-5853

「秋」と「遊具」と「挑戦」と「愛宕っ子」

校長 北島 裕二

晴れ渡る日には空が青く高く感じられ、秋の美しさを味わいます。雨の日は、一雨ごとに気温が下がり、秋の深まりを感じつつ、やがて訪れる冬に思いをはせるひとときがあります。

2学期が始まり1か月が過ぎました。子どもたちは毎日、授業で新たなことを学び、仲間と学びを深めるなどして学校生活を送っています。休み時間には、校庭へ繰り出して体を思いっきり動かしたり、虫や生き物（最近はエソリスも見かけます）や植物を眺めて楽しんだり、学校図書館で気になる本を見つけたりと思い思いに過ごしています。

本校には大きな遊具がいくつもあり、子どもたちは当たり前のように楽しんでいます。私がこれまで赴任した学校の中でも見たことのない大きさの遊具で、ひそかに「愛宕小の宝」だと思い、特に高い遊具のてっぺんまでよく登ります。この遊具、春は2年生や中学年がよく登っていましたが、今は1年生が最も多く登っているようです。「校長先生、見て見て！ここから降りることできる？」「いやあ、こわくて無理です。落ちたらケガするから気をつけて！」「うん！」てっぺんの少し下から伸びる登り棒を滑り降りる子は何人もいます。おそらく1年生は、春にはこわごとこの遊具を見上げ、ある子は登りたい気持ちになり、怖さと闘いながら一段一段上り、怖さに震えながらもてっぺんを制覇して達成感を味わい、それを見た子たちも登りたくなり、同じように震えながら達成感を味わったのだと思います。そんな子どもたちを見守りつつ「慣れ」「油断」で注意散漫にならないよう声を掛けます。

日頃から、子どもたちは自分のことを「見て」ほしいようです。「得意なことを見てほしい」「できるようになったことを見てほしい」ということでもあります。その根底には、弱い立場の子どもを大人が見てくれることの安心感が大きいように思います。常に自分を肯定的に見てくれると、子どもは頑張ることができます。そして、肯定的に見てくれる大人のいうことを子どもはよく聞くようになります。大人は不器用な子どもにどうしても手を出してしまいがちですが、小さな失敗も貴重な経験であり「失敗しても自分でやってみたい」という気持ちを大事にしたいものです。

最近の愛宕っ子を見ていると、失敗を恐れず挑戦する場面が見られて、頼もしく思います。人間である以上、失敗はつきものです。「失敗や挫折をしたことがない人は、何も新しいことに挑戦したことがないということだ」物理学者アインシュタインの言葉です。少なくとも子どものうち（本当は大人もそうですが）、失敗を指摘するよりも挑戦したことを褒めたいものです。そして、次の成功のためのアドバイスを子どもは聞きたいはず。私は中学生の時に生徒会長に立候補して落選した経験があります。つらく悲しい経験でしたが、励ましてくれる仲間や先輩の存在に救われ、自分の至らなさにも気付き、結果としてその挫折は自分にプラスに働きました。今振り返っても、挑戦してよかったと心から思えます。

本校で子どもたちと関わる教職員は、限られた時間の中で、子ども一人一人のよさや頑張りを見だし、更なる成長や活躍を支える取組を日々行っています。保護者の皆様、地域の皆様には、そうしたことをご理解いただき、子どもたちの健やかな成長のために、どうか本校教職員の取組を後押ししていただけますと幸いです。

修学旅行

9月4日(木)～5日(金)、6年生が小樽・札幌方面へ修学旅行に行きました。小樽では自主研修や水族館でのバックヤードツアーを経験し、宿泊先では夕食のバイキングやプールで楽しい思い出を作りました。2日目は、工場見学、青少年科学館、北海道博物館などで学びを深めました。2日間で、「時間を守り、みんなのことを考えて、楽しもう！」というめあてを達成することができました。保護者の皆様には、持ち物の準備、体調管理等でご協力いただきました。ありがとうございました。



学習発表会～テーマ発表

9月16日(火)、朝会で学習発表会のテーマが発表されました。今年のテーマは「ステージの端から端まで ど真ん中」です。誰もがセンター(主役)である、という思いが込められています。子どもたちは、10月18日(土)の発表に向けて全力で取り組んでいるところです。

旭高砂牛～おいしくいただきました



9月1日(月)、4年生を対象に旭川で育てられている「旭高砂牛」について学ぶ出前授業が行われました。牛の種類や部位、高砂酒造の酒粕を餌としていることなどについて、クイズを交えながら楽しく学習しました。給食時には提供された「旭高砂牛」を全校でおいしくいただきました。

避難訓練・シェイクアウト訓練

9月2日(火)、地震後に火災が発生したことを想定して、避難訓練を実施しました。雨により、急きょ体育館への避難となりましたが、子どもたちは終始、真剣な表情で訓練に参加し、命を守る行動について学んでいました。

給食試食会・市P連東部ブロック研修会

5日(金)に給食試食会を行いました。参加者からは「色々な工夫がなされていることがわかりました」「子どもとの会話ははずみそうです」等、たくさんの感想を寄せていただきました。また、27日(土)には、StudioBACUさんを講師に迎え、「学校では教えてくれない～アニメの裏側」と題して、講演会を開催いたしました。当日は、児童生徒を含む60名以上が参加し、アニメ制作の仕事についてうかがいました。

体験的な学び

愛宕小学校では、年間を通じて体験的な学習に取り組んでいます。8月と9月に実施したものを紹介します。

- 8/29 高齢者疑似体験(5年)
- 9/10 ごみに関する出前授業(4年)
- 9/12 仕事探検～校区の店舗見学(2年)



10月の主な予定

1日(水) 交通安全街頭指導 委員会	18日(土) 学習発表会
2日(木) あたごクリーン作戦	20日(月) 振替休業日
6日(月) スクールカウンセラー来校日	22日(水) 就学時健診
7日(火) 臨時休業(旭川市教育研究大会のため)	23日(木) クラブ
15日(水) 児童公開日 弁当持参日 諸費振替日	27日(月) 教育相談開始
	29日(水) クラブ
	31日(金) PTAレク学校ハロウィン

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果分析について

令和7年4月17日（木）[質問調査は22日（火）]に6年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査の結果分析から見えてきた愛宕っ子の概況について報告いたします。

成果

令和7年度 全国学力・学習状況調査問題・回答は
右の二次元コードから確認できます。



教科に関する調査より

令和7年度は国語・算数・理科の3教科を実施

- 国語では、意図に応じて、話の内容を捉えたり、自分の考えが伝わるように表現の仕方を工夫したりする問題がよくできていました。[問題：1三(1)、2一、2二]
- 算数では、理由を言葉や数を用いて記述したり、図形の意味や性質を理解し作図したりする問題がよくできていました。[問題：1(1)、1(2)、2(1)、2(2)、2(4)]
- 理科では、顕微鏡を操作したり、新たな問題を見だし表現したりする問題がよくできていました。[3(2)、3(4)、4(2)エオ]

質問調査より

質問調査については「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合が、全国よりも高く、本校の傾向を表しているものについてお伝えします。

- 「自分には良いところがある」「先生が認めてくれている」など、児童の自己肯定感が高く、教師との関係が良好であるという結果が出ています。
- ICT活用のスキルと経験が豊富で、文書を作成したり、情報収集したりすることができると考えている児童が多くいます。
- 読書を好む傾向があり、学習内容の理解度等、学びに対する前向きな姿勢が見られます。

課題・改善策

▲国語では、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめたり、情報と情報とを関係づけたりすること等に課題が見られました。[問題：1二、1三(2)、3二(2)]

改善策 目的を明確にした交流場面を設定したり、複数の情報を関係づけて説明したりする活動を経験させることにより、目的や意図に応じて言葉を使う力を伸ばします。

▲算数では、示された情報から必要な情報を選び答えを求めたり、計算方法について数や言葉を用いて記述したりすること等に課題が見られました。[1(4)、2(3)、3(2)]

改善策 必要な情報を整理することにより、言葉や数で記述し表す力を伸ばします。

▲理科では、実験の方法を発想し、表現したり、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解したりすること等に課題が見られました。[2(2)、3(3)、4(3)キ]

改善策 実験や観察等の体験的な学習により、科学的な思考力や表現力を伸ばします。

▲将来展望や目標意識、粘り強さに課題が見られました。

改善策 毎日の授業や「愛アイタイム」「ペア割班活動」等により、共感力やキャリア観の育成に努めます。